

豪雨後の主なできごと（創造的復興の歩み） R6.1月末時点

| 年月 | できごと | 年月 | できごと |
|-------|---|-------|--|
| R2年7月 | 令和2年7月豪雨発生 | 4月 | 球泉洞が再開 |
| 8月 | 県 復旧・復興本部設置 球磨川豪雨検証委員会開催 くまもと復旧・復興有識者会議開催 | 5月 | ラフティングが全面再開（一部コースはR5.5～休止中） |
| 9月 | 西瀬橋の仮橋設置 | 7月 | 球磨川くだりが一部区間短縮して再開（一部コースはR5.5～休止中） |
| 10月 | 球磨川流域治水協議会開催 | 8月 | 球磨川水系河川整備計画策定 相良村で木造仮設住宅の利活用による住まいの再建実現 |
| 11月 | 肥薩おれんじ鉄道全線運行再開 新たな治水の方向性“緑の流域治水”を表明 県 復旧・復興プラン策定 | 10月 | 青井阿蘇神社禊橋復旧 |
| 12月 | 全ての応急仮設住宅が完成（808戸） | 11月 | 球磨村の新たな宅地造成等工事着手 |
| R3年1月 | 全ての避難所が閉鎖 応急仮設住宅入居者数ピーク（4,217人） | 12月 | 坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋の本復旧工事着工 相良村で災害公営住宅完成（発災後第1号） |
| 2月 | 人吉市に仮設商店街オープン | R5年1月 | くま川鉄道第四橋梁架替工事着手 |
| 3月 | 八代市坂本支所再建場所決定 球磨川水系流域治水プロジェクト策定 市町村復興計画策定（八代市、人吉市、芦北町、相良村、山江村、球磨村） 人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略策定 | 2月 | 人吉市青井地区の土地区画整理事業が事業認可 西瀬橋の復旧が完了 球磨村神瀬地区宅地嵩上げ工事着工 |
| 4月 | 田んぼダム実証実験開始 | 3月 | 人吉市紺屋町の土地区画整理事業が事業認可 |
| 5月 | 相良橋、坂本橋、鎌瀬橋の仮橋設置 豪雨で堆積した河川の土砂撤去完了 | 4月 | 八代市坂本町で災害公営住宅完成 道の駅坂本の再整備方針決定 |
| 6月 | 道の駅坂本プレオープン | 5月 | 国が権限代行で実施した河川復旧工事が完了 |
| 7月 | 八代市坂本町に仮設商店街オープン HASSENBAオープン 国道219号の一部区間通行開始 | 6月 | 球磨村一勝地区で災害公営住宅完成 相良村で新たな宅地完成 |
| 9月 | 球磨村に仮設商店街オープン | 8月 | 相良村遊水地事業着手 芦北町宅地嵩上げ事業着手 |
| 11月 | くま川鉄道が部分運行再開 | 9月 | 球磨村引堤事業着手 八代市坂本町宅地嵩上げ・輪中堤事業着手 芦北町佐敷地区で災害公営住宅完成 |
| 12月 | 球磨川水系河川整備基本方針変更 | 11月 | 深水橋・神瀬橋・相良橋・天狗橋の本復旧工事着工 人吉市相良地区で災害公営住宅完成 |
| R4年3月 | 国道219号等の道路復旧方針決定 | R6年1月 | 千寿園竣工（球磨村での事業再開） |



災害公営住宅（球磨村渡地区）【提供：球磨村】



さかもと復興商店街（八代市坂本町）

令和2年7月豪雨からの

創造的復興



西瀬橋完成式（人吉市）【提供：熊本日日新聞社】



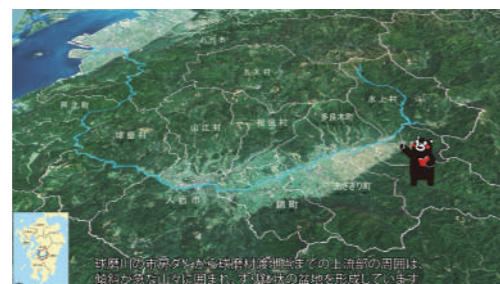
球磨川くだり（人吉市）

“緑の流域治水”の見える化の取組み

「緑の流域治水」に対する県民の理解を深めるため、動画・立体地図・パンフレット等を活用して、県内の小中高校向けの出前授業や、各市町村の防災会議等での情報発信に取り組んでいます。



出前授業の様子（人吉第一中学校）



「緑の流域治水」の取組みに関する動画



パンフレット



立体地図

問い合わせ先
熊本県企画振興部球磨川流域復興局
 TEL:096-333-2608 FAX:096-382-3122
 E-mail:kumakyokutsuki@pref.kumamoto.lg.jp

「緑の流域治水」の動画を
 ご覧になりたい方はこちら



発行者：熊本県
 所属：球磨川流域復興局
 発行年度：令和5年度

熊本県 令和6年(2024年)1月



復旧・復興の進捗状況を
 ご覧になりたい方はこちら



佐敷城下祭り（芦北町）【提供：熊本日日新聞社】



くま川鉄道部分運行再開記念出発式（湯前町）【提供：湯前保育園】

令和2年7月豪雨からの

創造的復興

「命」と「清流」を守り、
ともに前へ。

球磨川流域を中心に、多くの尊い命を奪い、
甚大な被害をもたらした、令和2年7月豪雨。
熊本県では、この未曾有の災害からの創造的復興に向けて、
球磨川の新たな治水の方向性“緑の流域治水”の理念のもと
令和2年11月に「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定しました。

そして今、地元の懸命な御努力と国の絶大なる御支援により、
被災地の安全・安心の確保と復旧・復興は着実に進んでいます。

引き続き、“誰一人取り残さない”という決意のもと、
令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けて、
国や市町村、住民の皆様と連携して全力で取り組んでいきます。



Contents

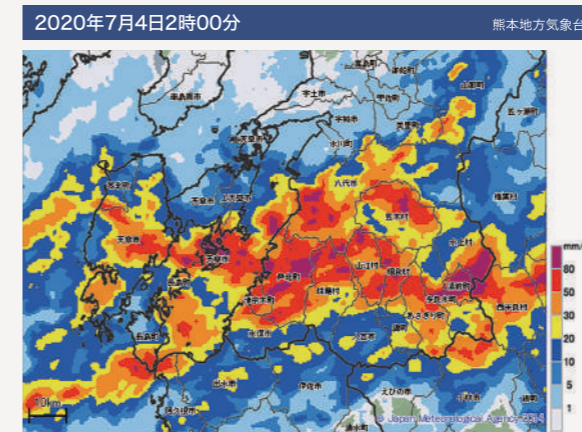
| | |
|-------------------------------|-----|
| 豪雨の概要 | P04 |
| 県内の被害概要 | P05 |
| 初動対応 | P07 |
| 復旧・復興に向けた体制整備と意見聴取等 | P09 |
| 令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン | |
| ■ 5つの取組みの方向性 | P11 |
| ■ “緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目 | P13 |
| 復旧・復興の進捗状況 | |
| ■ 緑の流域治水の推進 | P15 |
| ■ すまい・コミュニティの創造 | P17 |
| ■ なりわい(生業)・産業の再生と創出 | P19 |
| ■ 災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり | P21 |
| ■ 地域の魅力の向上と誇りの回復 | P23 |
| 復旧・復興に向けて | P25 |
| (参考) 令和2年7月豪雨関連データ | P26 |
| 豪雨後の主なできごと、“緑の流域治水”の見える化の取組み | 裏表紙 |

豪雨の概要

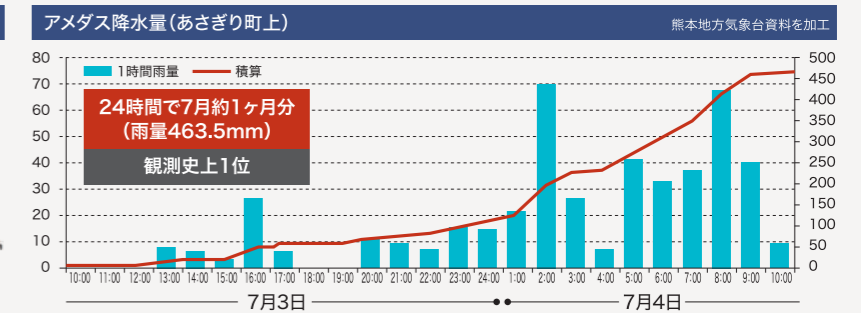
降雨の状況

- 令和2年7月3日夜、梅雨前線が九州北部地方まで北上し、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となり、記録的な大雨となりました。
- 特に球磨川流域では、線状降水帯が形成され、時間雨量30mmを超える激しい雨が、7月4日未明から朝にかけて、8時間にわたって連続して降り続けました。
- 球磨川本川の中流部から上流部及び最大支川の川辺川の各雨量観測所における降雨量は、6時間雨量、12時間雨量及び24時間雨量において、戦後最大の洪水被害をもたらした昭和40年7月洪水や昭和57年7月洪水を上回る降雨を記録しました。

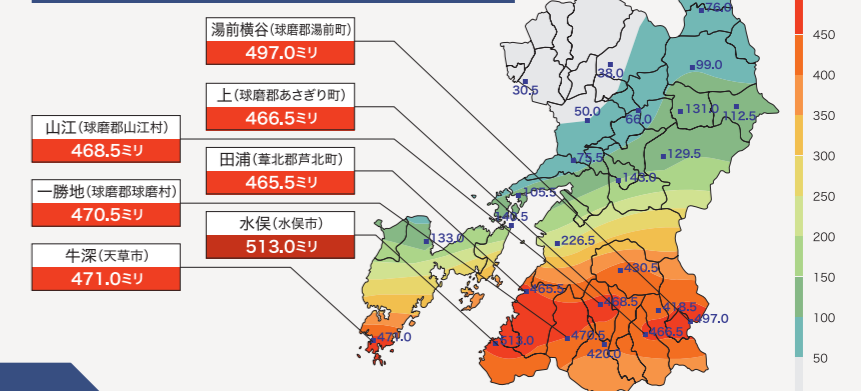
7月4日の線状降水帯



7月3日午前10時から4日午前10時までの時間雨量(24時間)



アメダス総降水量の分布図(7月3日～4日)



球磨川の水位の状況

球磨川本川及び支川川辺川における各水位観測所では、いずれの観測所においても、昭和40年7月洪水や昭和57年7月洪水を上回る水位を記録するとともに、観測開始以来最高の水位を記録しました。



県内の被害概要 写真とデータで振り返る令和2年7月豪雨

人的・住家・交通インフラ被害数

※その他の被害状況はP.26をご覧ください。

| 項目 | | 状況 |
|----------|---------|--|
| 人的被害 | 死者数 | 67人(うち災害関連死者2人) |
| | 行方不明者数 | 2人 |
| | 負傷者数 | 50人 |
| 住家被害 | 全壊 | 1,493棟 |
| | 半壊 | 3,117棟 |
| | 床上浸水 | 286棟 |
| | 床下浸水 | 420棟 |
| | 一部損壊 | 2,098棟 |
| 孤立集落 | | 166集落 |
| 交通インフラ被害 | 道路 | 729路線 |
| | 橋梁流出 | 16か所 |
| | 鉄道(3路線) | 597箇所 (JR九州:450、くま川鉄道:55、肥薩おれんじ鉄道:92) |



救出活動中の緊急消防援助隊



流出した相良橋

(人的被害及び住家被害は令和4年4月1日確定値。それ以外は令和3年3月30日時点。)

各地の被害状況



芦北町女島地区



芦北町佐敷地区



山江村万江地区(提供:山江村)



津奈木町福浜地区



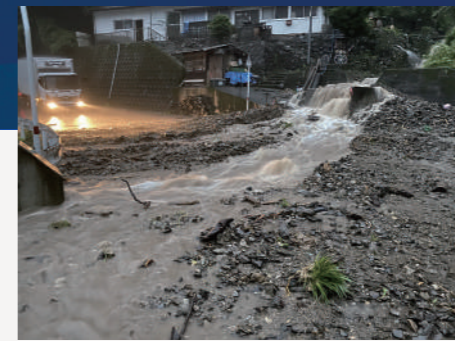
球磨村神瀬地区



球磨村渡地区



八代市坂本町



五木村小鶴地区(提供:五木村)



水上村湯山地区(提供:水上村)



球磨川第一橋梁(八代市坂本町)



相良村四浦地区(提供:相良村)



湯前町猪鹿倉山(提供:湯前町)



県道梶屋多良木線(提供:多良木町)



あさぎり町岡原地区(提供:あさぎり町)



人吉市矢黒町・下戸越町・下薩摩瀬町



青井阿蘇神社(人吉市)



錦町一武浜川地区(提供:錦町)

初動対応

人命救助



ボートで救助する様子



屋根に避難した被災者を救助する様子

消防、警察、自衛隊、海上保安庁の各機関による懸命な救助・捜索活動が行われ、延べ2,048人の人命救助が行われました。

【各機関の救出・救助実績状況】

| 機関名 | 人数 |
|----------------|-------|
| 消防(県内) | 47 |
| 消防(緊急消防援助隊:陸上) | 218 |
| 消防(緊急消防援助隊:航空) | 149 |
| 警察 | 351 |
| 陸上自衛隊 | 1,097 |
| 海上自衛隊 | 1 |
| 航空自衛隊 | 164 |
| 海上保安庁 | 21 |
| 合計 | 2,048 |

孤立集落の把握・対応



孤立集落からの救出活動の様子



国道219号(球磨村神瀬地区)啓開作業

河川氾濫や土砂災害による道路被害が多数発生したことで、山間部を中心に孤立集落が166集落(10市町村)発生しました。

県では、速やかに孤立集落(※)の全容把握を実施し、救出活動や道路啓開作業により、8月12日に全ての集落の孤立が解消しました。

※孤立集落:車で到達することができず、住民がとどまっている集落

避難所の開設・運営



避難所に配備された布パーテーション(人吉スポーツパレス)



避難所の検温コーナー(人吉スポーツパレス)

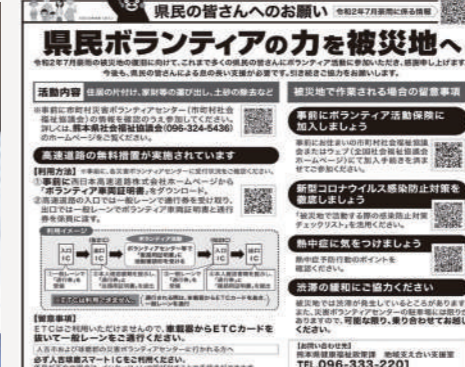
新型コロナウイルス感染拡大の中、初の大規模災害となり、3密の防止やマスク、手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底した避難所運営が行われました。

その結果、避難所での新型コロナウイルスへの感染は確認されませんでした。

災害ボランティア



被災家屋の泥出しをするボランティア



新聞広告(令和2年7月22日)

7月6日以降、各地で災害ボランティアセンターが設置され、延べ4万人超によるボランティア活動が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアの募集が県内に限定されたため、新聞広告等を活用して、県民にボランティア活動を呼びかけました。

宅地等への堆積土砂の撤去



芦北町海浦地区 土砂撤去前(提供:芦北町)



芦北町海浦地区 土砂撤去後(提供:芦北町)

今回、大規模な河川氾濫や法面崩壊等により、宅地等への土砂堆積被害が発生しました。

宅地等への土砂堆積被害については、県内に事例が少なかったため、国・市町村等との情報共有を図り、県独自の事業を創設する等、速やかに堆積土砂を撤去できるよう取り組みました。

応急仮設住宅



完成した応急仮設住宅(人吉市)



ムービングハウス(球磨村)

「あたたかさ」と「ゆとり」と「ふれあい」のある応急仮設住宅とするため、配置計画や住戸の仕様について様々な工夫を行い、雨音を軽減するための瓦屋根の採用、洗濯機置き場の室内化、住戸内外の段差解消などの改良を加えました。

また、村外への避難を余儀なくされた球磨村の方々に対し、早期に仮設住宅を提供するため、ムービングハウス(工場で製造し現地に輸送)を初めて採用しました。

復旧・復興に向けた体制整備と意見聴取等

県の組織体制の整備

令和2年7月4日午前4時50分、八代市、人吉市などに大雨特別警報が発表されたため、同時に熊本県災害対策本部が自動設置され、情報収集及び自衛隊など各機関への応援要請・活動調整などを行いました。以降、計29回会議を開催し、8月31日に災害対策本部体制を廃止しました。

県庁の各部署が一体となって、復旧・復興を迅速かつ強力に推進するため、令和2年8月21日に「令和2年7月豪雨復旧・復興本部」を設置しました。併せて、復旧・復興に専任・集中的に取り組むため、「球磨川流域復興局」を新設し、県の組織体制を強化しました。



第3回熊本県災害対策本部会議
(令和2年7月5日)



第1回令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議
(令和2年8月21日)

令和2年7月球磨川豪雨検証委員会

「令和2年7月球磨川豪雨検証委員会」を開催し、国、県、流域市町村が連携し、河川の水位や被害状況、治水対策の効果、初動対応などについて、科学的・客観的な検証を行いました。
(第1回検証委員会：令和2年8月25日、第2回検証委員会：令和2年10月6日)

委員構成

| | |
|-------|---|
| 国 | 九州地方整備局長 |
| 県 | 熊本県知事 |
| 流域市町村 | 八代市長、人吉市長、芦北町長、錦町長、あさぎり町長、多良木町長、湯前町長、水上村長、相良村長、五木村長、山江村長、球磨村長 |

検証結果一部抜粋

市房ダムがなく、上流で氾濫がなかった場合、人吉地点での流量が、戦後最大の昭和40年7月洪水の流量(約5,700m³/s)を大きく上回り、河川整備基本方針の基本高水のピーク流量(人吉地点7,000m³/s)も上回る、約7,900m³/s流量であることを確認。

仮に川辺川ダムが存在した場合、人吉地点のピーク流量は今次洪水の約7,400m³/s(市房ダム洪水調節後、上流での氾濫がなかった場合の推定流量)から、約2,600m³/s低減し、約4,800m³/sとなることを確認。(現行の川辺川ダム計画だけでは、全ての被害を防ぐことはできない結果となった。)

検証委員会資料についてはこちら→



第2回令和2年7月球磨川豪雨検証委員会(令和2年10月6日)

くまもと復旧・復興有識者会議

復旧・復興の基本的な考え方や方向性を明確にするため、平成28年熊本地震に引き続き、「くまもと復旧・復興有識者会議」を開催しました。会議において、住民の生命・財産を守るとともに、球磨川流域の豊かな恵みを受け、将来にわたって持続可能な地域の再生を目指す「グリーンニューディール」という新たな復興の哲学などを御提案いただきました。

| | |
|------|--------------------------------------|
| 座長 | 五百旗頭 真(公立大学法人兵庫県立大学 理事長) |
| 座長代理 | 御厨 貴(東京大学 名誉教授/東京大学先端科学技術研究センターフェロー) |
| 委員 | 金本 良嗣(電力広域的運営推進機関 理事長) |
| 委員 | 河田 恵昭(関西大学社会安全研究センター センター長) |
| 委員 | 古城 佳子(青山学院大学国際政治経済学部 教授) |
| 委員 | 谷口 将紀(東京大学大学院法政学政治学専攻 教授) |
| 委員 | 坂東 真理子(昭和女子大学 理事長・総長) |



※組織名・肩書きは当時のものです。

くまもと復旧・復興有識者会議からの提言書についてはこちら→



住民等の御意見・御提案をお聴きする会

令和2年7月豪雨からの復旧・復興や治水の方向性の検討に当たり、被害にあわれた住民の方々や様々な団体・事業者、球磨川流域の市町村長や市町村議長等から、御意見や御提案をお聴きすることを目的として計30回開催。延べ467人から貴重な御意見をいただきました。

【住民】13回 【団体】8回 【首長・議会】5回 【有識者】4回
計30回、延べ467名の意見を聴取

お聴きする会の議事録についてはこちら→



令和2年10月22日 球磨村



令和2年10月24日 人吉市



令和2年11月3日 観光・文化等団体



令和2年11月6日 市町村長・議長(八代市)

〈意見の一部抜粋〉

- 住まいの再建に対する支援をしてほしい。
- 速やかな避難体制づくりが必要。
- ダム、遊水地、河道掘削、嵩上げなど、あらゆる治水対策が必要。
- 森林整備による治水効果の向上を進めてほしい。
- 美しい球磨川を残してほしい。等



令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン

(令和2年11月策定)

豪雨災害の科学的・客観的な検証、住民の皆様からの御意見や有識者からの提言等を踏まえ、令和2年11月に、球磨川流域の新たな治水の方向性として、流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」を推進することを表明し、その理念の核として、「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定しました。

復旧・復興プランでは、緑の流域治水を含む5つの取組みの方向性のもと、重点10項目を掲げ、各目標に向かって取組みを推進しています。

5つの取組みの方向性

1 緑の流域治水

生命・財産を守る安全・安心の最大化と環境への影響の最小化のベストミックス

河川の整備だけでなく、遊水地の活用や森林整備、避難体制の強化を進め、さらに、自然環境との共生を図りながら、国、県、流域市町村、企業、住民が協働し、流域全体の総合力で安全・安心の実現を目指します。



※この図は、流域治水のイメージであり、実際の対策の範囲や位置と一致するものではありません。

2 すまい・コミュニティの創造

3 なりわい(生業)・産業の再生と創出

4 災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり

5 地域の魅力の向上と誇りの回復

令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

目標1 堆積土砂の撤去など 河川の緊急対策

令和5年度末 到達イメージ

- 堆積土砂の撤去完了
- 計画的な河道掘削・河川施設の復旧



川辺川(五木村宮園)の掘削状況

目標2 治山・砂防による 山の再生・強化

令和5年度末 到達イメージ

- 緊急的な治山・砂防施設の復旧・整備完了

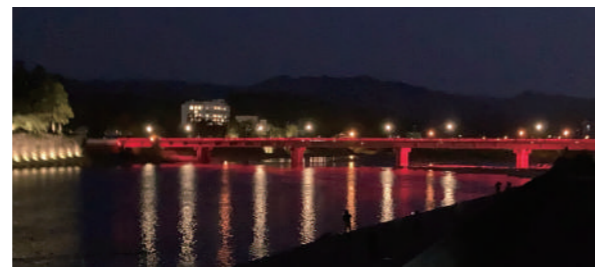


砂防堰堤の堆積土砂撤去(あさぎり町西平川)

目標3 “いのち”を守る 防災・減災力の強化

令和5年度末 到達イメージ

- マイタイムラインの全世帯への普及
- 人吉・球磨地域への田んぼダムの普及・拡大 など



ライティング防災アラートシステム(人吉市)

目標4 本格的な住まいの再建

令和5年度末 到達イメージ

- 被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保の完了
- 発災1年半以内での災害廃棄物処理完了

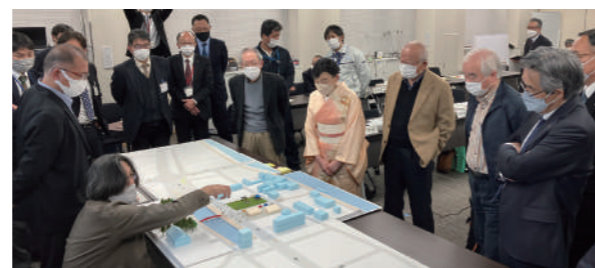


災害公営住宅(人吉市相良町)[提供:人吉市]

目標5 被災地のまちづくりと 集落再生

令和5年度末 到達イメージ

- 甚大な被害を受けた地域のまちづくり・集落再生の実現



人吉市青井復興まちづくり推進委員会の様子

目標6 生業の再建と 新たな産業の創出

令和5年度末 到達イメージ

- 再建を目指す全ての事業者の事業再開
- 流域全体をけん引する新たな産業の創出



スーパーマーケット イスミ本店(人吉市)

目標7 農林水産基盤の復旧

令和5年度末 到達イメージ

- 再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧完了



廃土による樹園地の復旧(芦北町)

目標8 国道219号をはじめ とした道路・橋梁の 創造的復興

令和5年度末 到達イメージ

- 国道219号・橋梁の創造的復興に向けた工事の着手・実施 など



鎌瀬橋(八代市坂本町)の仮橋

目標9 鉄道の復旧

令和5年度末 到達イメージ

- くま川鉄道の部分運行及び全線運行に向けた工事実施
- JR肥薩線の復旧方針に沿った事業実施



くま川鉄道(あさぎり町)

目標10 観光地人吉・球磨の復活

令和5年度末 到達イメージ

- 宿泊者数が被災前の水準を上回る
- 人吉温泉、球磨川くだり、ラフティング、球泉洞の再開
- 被災した文化財の復旧完了
- 球磨焼酎の世界進出による認知度向上・販路拡大



旅館 翠嵐楼(人吉市)

緑の流域治水の推進

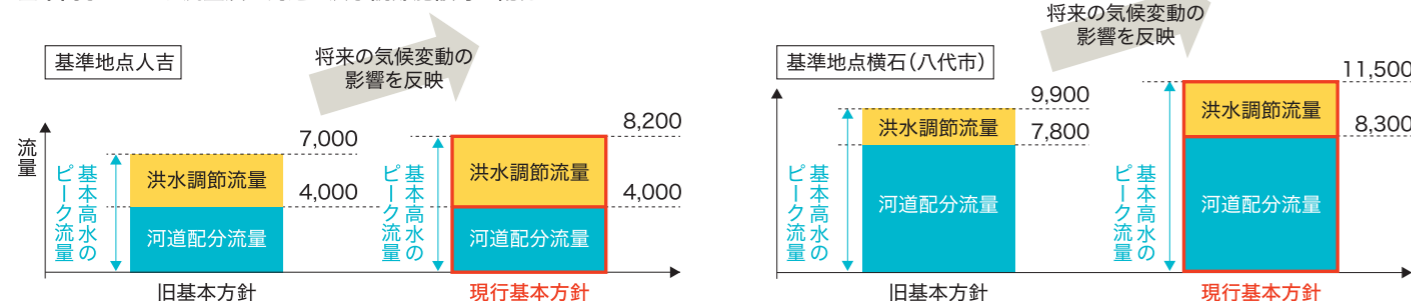


「流域治水プロジェクト」・「河川整備計画」の策定

- 令和3年3月、国・県・流域市町村が連携し、「球磨川水系流域治水プロジェクト」を策定しました。
- 令和3年12月、「緑の流域治水」の理念のもと、全国で初めて、「気候変動」と「流域治水」の新たな視点を踏まえ、「球磨川水系河川整備基本方針」が変更され、令和4年8月、「球磨川水系河川整備計画」が策定されました。

河川整備基本方針(R3.12)

基本高水のピーク流量及び河道と洪水調節施設等の配分



出典: 河川整備基本方針検討小委員会

河川の対策

堆積土砂の撤去



陶川(人吉市)



治山ダムの流木撤去



球磨村神瀬地区



遊水地の整備



相良村柳瀬地区(提供:九州地方整備局八代河川国道事務所)

河川管理施設の復旧



川辺川(相良村)

土砂・洪水氾濫対策(万江川)

都道府県として全国初となる、砂防・河川・治山の3事業が連携した対策

万江川における

土砂・洪水氾濫対策のイメージ



砂防堰堤(イメージ)

治山ダム(イメージ)

治山ダムの整備



八代市坂本町

山の再生・強化

“命”と“清流”を守る流水型ダム

- “命”と“清流”を守る川辺川の新たな流水型ダムの整備に向け、国において、最新の知見と技術力を結集させて、環境影響の最小化に向けた検討及びダム本体の調査・設計等が進められています。

川辺川の流水型ダムの諸元

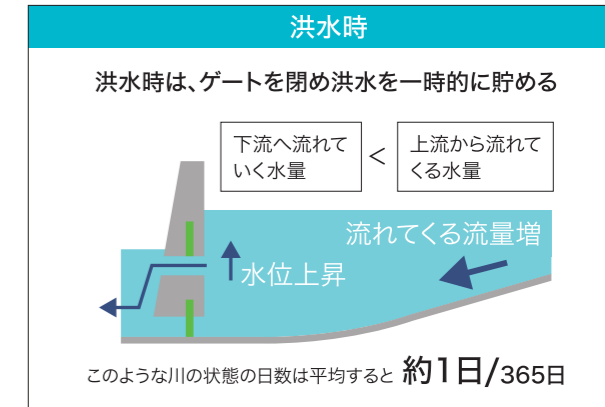
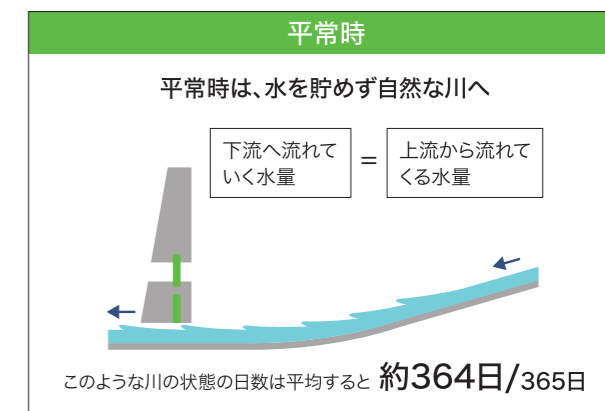
| ダム形式 | ダム高 | 堤頂長 | 総貯水容量 | 貯水面積 |
|-------------|--------|---------|-----------|----------------------|
| 重力式コンクリートダム | 107.5m | 約262.5m | 約13,000万㎡ | 約3.91km ² |



川辺川の流水型ダムのイメージ(ダム下流水面付近から望む)

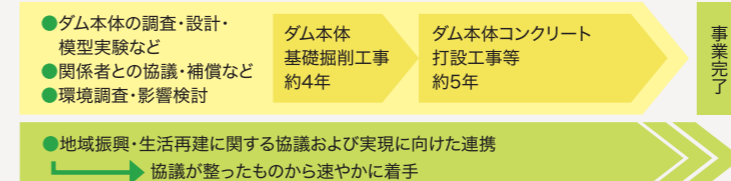
※本イメージは、現時点の設計案に基づき作成しており、今後変更の可能性があります。

流水型ダムの特徴



流水型ダム完成までのロードマップ

令和4年度(2022年度) 令和9年度(2027年度) 令和17年度(2035年度)



※上記の流水型ダム完成までのロードマップは、今後の関係者との調整等により変更の可能性があります。

出典: 第4回球磨川水系学識者懇談会(R4.3.28)

“いのち”を守る防災・減災力の強化

戸別受信機・防災ラジオの設置



マイタイムラインの普及



報道機関と連携した「危機感共有と命を守る災害報道連携会議」



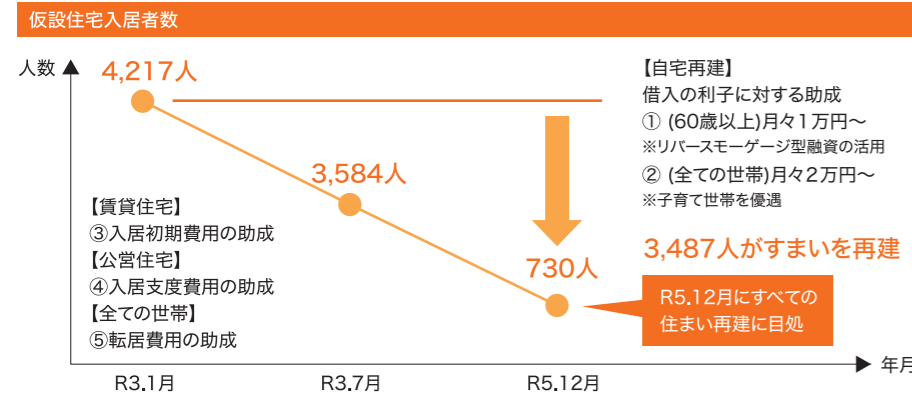
田んぼダムの取組み





被災者の本格的な住まいの再建

「熊本県独自の5つの支援策」



訪問による見守り支援(提供:人吉市)



地域支え合いセンターによる交流支援(八代市)

災害廃棄物の処理



損壊家屋の解体・撤去



球磨村茶屋地区



解体後

令和5年2月末に全ての市町村で公費解体・災害廃棄物処理が完了

公費解体:2,450件 災害廃棄物処理量:32.8万トン

被災地の復興まちづくり・集落再生

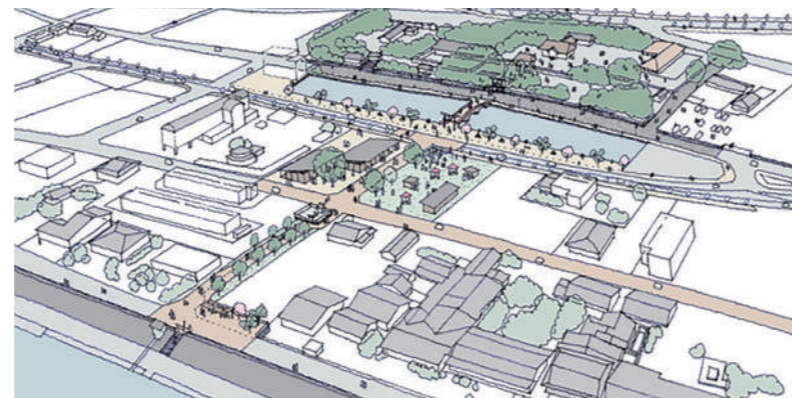
被災した各市町村において、復興計画を策定し、新たなまちづくり・集落再生の取組みを進めています。

人吉市

被害の大きかった中心市街地(青井地区、紺屋町)で、被災市街地復興土地区画整理事業を推進中です。

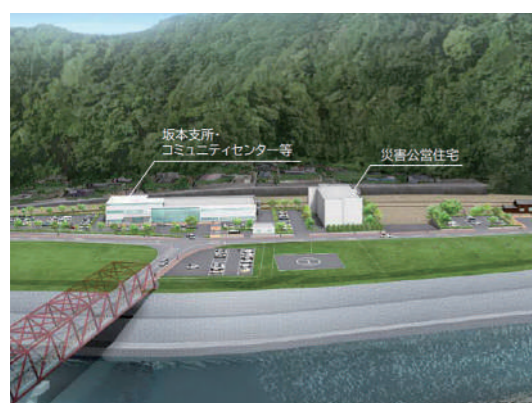


紺屋町被災市街地復興土地区画整理審議会の様子

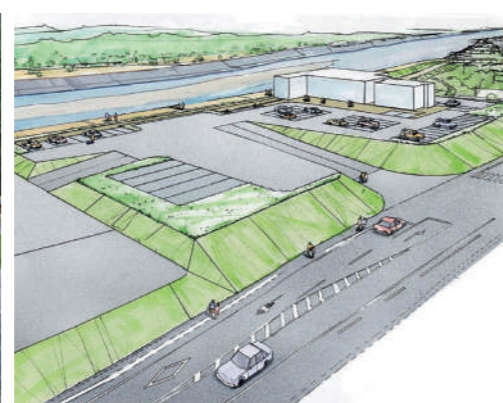


「青井阿蘇神社を中心とした歴史文化・賑わいの形成」イメージ図

八代市坂本町



坂本支所及び周辺地区の再整備検討イメージ(R6.1月末時点)



道の駅「さかもと」の再整備検討イメージ(R6.1月末時点)

相良村



木造仮設住宅を活用した地域コミュニティ施設の整備イメージ(提供:相良村)



高台への新たな宅地造成

球磨村

高台への新たな宅地造成、輪中堤・宅地かさ上げ、災害公営住宅整備等による、集落再生の取組みが進んでいます。



新たなまちづくりイメージ(渡地区)



山江村



新たな避難所の整備(提供:山江村)



村営住宅の整備(提供:山江村)

芦北町



花岡高台避難所の整備(提供:芦北町)



災害公営住宅の整備(提供:芦北町)



なりわい(生業)・産業の再生と創出



被災事業者のなりわい再建に向けた支援

令和2年7月豪雨災害により被災した中小企業者等のなりわいの再建に向け、これまでのグループ補助金を拡充、柔軟化した「なりわい再建支援補助金」により、被災事業者の再建を強力に支援しています。

※ コロナの影響を受け、令和2年7月豪雨災害に加え、熊本地震でも被災した事業者に対し、一定の要件を満たす場合には、5億円を上限に定額補助



人吉温泉「鍋屋」の復旧

**補助金
交付決定
512件**
(うち復旧完了481件)
【R5.12月末時点】
(交付決定後の取消10件を除く)



全国開拓農業協同組合連合会及びゼンカイミート(株)の復旧

企業の誘致・産業の創出

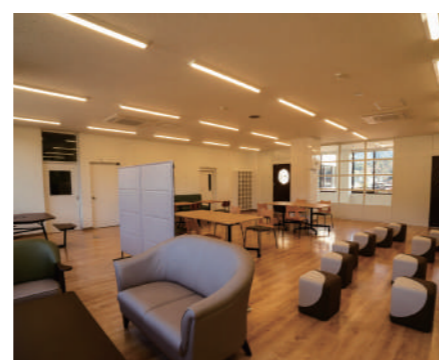
球磨川流域市町村等の創造的復興を後押しするため、従来の「企業立地促進補助金」の投資・雇用要件を緩和し、補助率を上げた、「球磨川流域復興枠」を創設するとともに、サテライトオフィスの設置等による、企業の誘致・産業の創出を推進しています。



(株)エービーケーエスエスとの協定(人吉市)



(株)LiNew(リニュー)との協定(芦北町)



芦北サテライトオフィス田浦(芦北町)

雇用の維持・確保及び離職者等の就労支援



令和4年7月にワンストップ就労相談窓口を設置



球磨地域産業振興連絡会議



商店街の事業再開に向けた取組み



モソカタウンひとよし駅前(提供:人吉市)



球磨村一勝地地区



さかもと復興商店街



紺屋小町(人吉市)



コンテナマルシェ(人吉市)[提供:人吉商工会議所]

ゼロカーボンの取組み

高断熱住宅の普及によるゼロカーボンの取組のため、球磨川流域地域における高断熱窓・ガラス等を用いた住宅リフォーム等へ補助を実施。



補助金を活用して施工した例

農林水産基盤の復旧



林道の復旧(五木村字下梶原地区)



農地の復旧(芦北町宮浦地区)



高断熱住宅のメリット

**補助金
交付決定
387件**
【R5.12月末時点】

国道219号をはじめとする道路の復旧

道路の復旧状況



被災状況(国道219号:八代市坂本町川嶽地区)



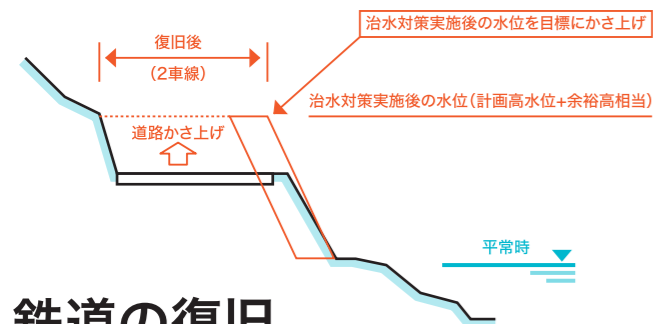
復旧状況(道路の復旧:かさ上げ)R5.11.7
至 人吉市
かさ上げ後の道路の高さ



被災状況(国道219号:球磨村伊高瀬地区)



復旧状況(道路の復旧:かさ上げ)R5.11.7
至 八代市
かさ上げ後の道路の高さ



国道219号は、災害時に強靱で信頼性の高い避難路として機能するように治水対策実施後の水位(計画高水位+余裕高相当)を目標にかさ上げを実施することが決定

鉄道の復旧

肥薩おれんじ鉄道

令和2年11月全線運行再開



全線運行再開を記念した出発式の様子

くま川鉄道 ※令和7年度中の全線運転再開見込み

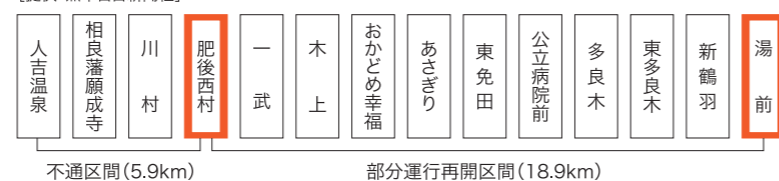
令和3年11月「肥後西村駅～湯前駅」部分運行開始



くま川鉄道部分運行再開記念出発式(湯前町)
[提供:熊本日日新聞社]



球磨川第四橋梁復旧工事



橋梁の復旧

流失した球磨川の10橋全て復旧に着手(西瀬橋はR5.2に完成)



被災した西瀬橋(人吉市)



復旧工事



完成式



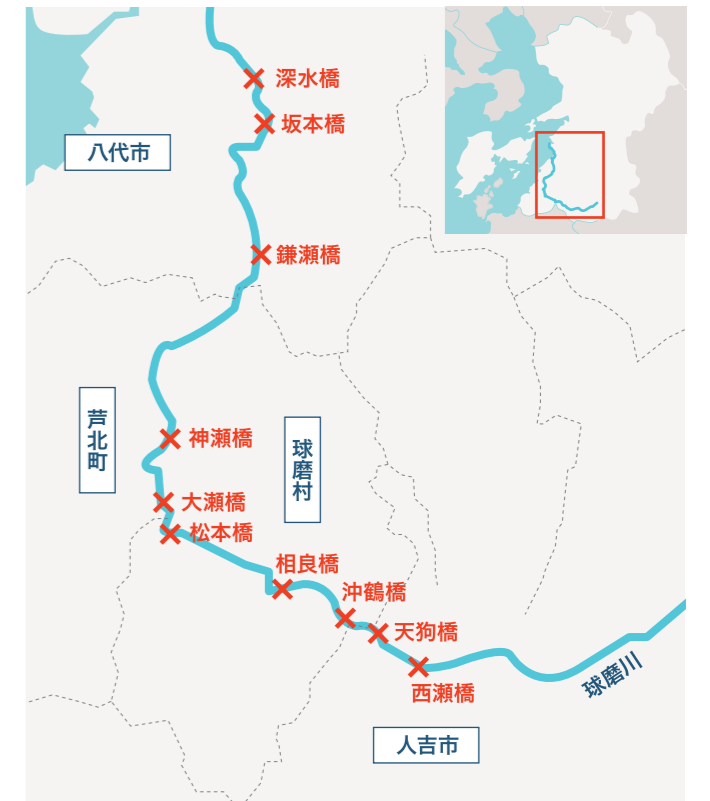
供用開始



鎌瀬橋の完成イメージ図



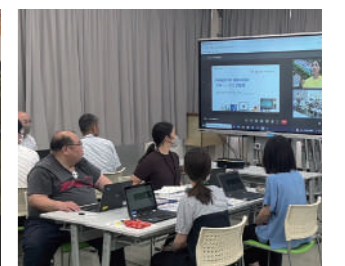
相良橋の完成イメージ図



魅力ある学校づくり



山崎製パン(株)とコラボしたランチパックを販売(球磨中央高校)



グーグルによるオンライン研修(ICT教育の推進)

JR肥薩線

鉄道復旧に向けて関係者と協議中



JR肥薩線検討会議(国、県、JR九州)



JR肥薩線再生協議会(県、地元市町村)



地域の魅力の向上と誇りの回復

観光地域づくりの推進

球磨川くだり・ラフティングの再開



HASSENBA



球磨川くだり



ラフティング

※球磨川くだり及びラフティングの一部コースは休止中(R6.1月末時点)

観光施設の再開



球泉洞



人吉旅館



清見山水花 あゆの里

人吉温泉の復活

球磨川流域大学構想

球磨川流域を1つのキャンパスと位置づけ、球磨川流域の魅力ある自然や恵みを生かした様々な「学び」「研究」「交流」の場を創出することで、若者が“残り”“集まる”魅力あふれる地域の実現を目指しています。

最先端の「緑の流域治水」研究



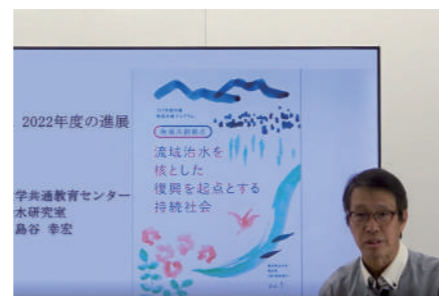
熊本県立大学と連携した「緑の流域治水」研究

地域課題の解決



JICAと連携した地域課題マッチングプラットフォーム「ひこらぼ」

“学び・交流”の場の創出



熊本県立大学による「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」開講



南校高校による雨庭整備



大学コンソーシアム熊本主催の「政策アイデアコンテスト」



「緑の流域治水」の出前授業(湯前小学校)

文化財の復活



青井阿蘇神社(提供:熊本日日新聞社)

新たな観光戦略の推進



新たなアクティビティ(SUP)



夏目友人帳影絵(人吉駅)
「©緑川ゆき・白泉社/「夏目友人帳」製作委員会」



青井の杜国宝記念館完成



『くまモンタウン人吉』
(くまモンランド化構想)

球磨焼酎の魅力発信

球磨焼酎の販路拡大



(大阪)大型商業施設での熊本フェア(2023年は6施設148店舗が参加)



球磨焼酎蔵ツーリズム



球磨焼酎蔵ツーリズム協議会への商品造成支援



仕込み体験



被災市町村における職員確保状況

被災市町村では、復旧・復興業務に従事する職員を全国の自治体から派遣いただくとともに、任期付職員等の採用や民間委託により、業務の執行体制を確保しています。



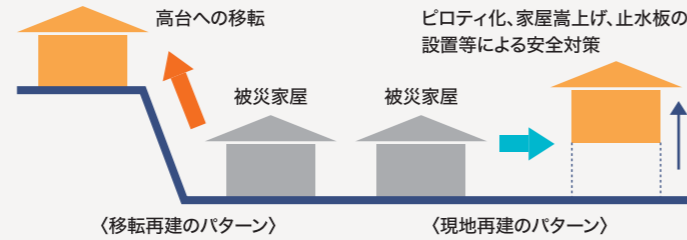
(単位:人)

| 市町村 | R2 | | R3 | | R4 | | R5 | |
|------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|
| | 派遣職員 | 任期付職員等 | 派遣職員 | 任期付職員等 | 派遣職員 | 任期付職員等 | 派遣職員 | 任期付職員等 |
| 八代市 | 5 | | 3 | 5 | 4 | 3 | 1 | |
| 人吉市 | 28 | 5 | 27 | 5 | 19 | 7 | 14 | 7 |
| 南小国町 | 1 | | | | | | | |
| 小国町 | 1 | | 2 | | 2 | | | |
| 芦北町 | 10 | 2 | 9 | 1 | 8 | 1 | 7 | 1 |
| 津奈木町 | 1 | 2 | | 2 | | | | |
| 湯前町 | | 2 | | 1 | | | | |
| 相良村 | 1 | | | 1 | | | | |
| 五木村 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 |
| 山江村 | | | 1 | | | | | 2 |
| 球磨村 | 25 | 4 | 28 | 7 | 18 | 1 | 11 | |
| 計 | 72 | 16 | 70 | 23 | 51 | 13 | 36 | 8 |

球磨川流域復興基金による市町村支援

被災市町村の豪雨災害からの生活再建、市街地・集落の復興、安全・安心な地域づくりを支援するため、令和2年10月に「球磨川流域復興基金」を創設(総額30億円)しました。現在、この基金を活用して36事業をメニュー化し、被災市町村の復興を支援しています。

木造仮設住宅活用等支援 すまいの安全確保支援(イメージ)



五木村・相良村の復興

“緑の流域治水”の推進にあたり、これまで川辺川ダム問題に翻弄され続けてきた五木村と、新たな流水型ダムの建設予定地となる相良村の復興は欠かすことはできません。両村の意向を丁寧にお聴きしながら、国・県・村が一体となって、両村の具体的な復興策を進めています。



新たな五木村復興計画の確認式 (R5.5.15)



熊本県五木村復興相談室開所式 (R5.6.19)



知事から相良村長へ県の取組みを手交 (R5.3.27)



相良村村民説明会 (R5.5.21)

被害額一覧

| 項目 | 被害額 | 備考 |
|-------------|---------------|--------------------------------|
| 建築物(住宅関係) | 1,554億2,718万円 | 住家、家財(宅地は含まない) |
| 水道施設 | 3億212万円 | 送配水施設、浄水施設、取水施設 |
| 医療・福祉関係施設 | 68億3,173万円 | 医療施設、社会福祉施設等 |
| 公共土木施設 | 1,512億9,967万円 | 道路、橋梁、河川、海岸、港湾、下水道等(国直轄分は含まない) |
| 文教施設(文化財除く) | 33億8,649万円 | 学校、社会教育施設等 |
| その他の公共施設等 | 21億6,379万円 | 県有施設、市町村庁舎、公営住宅、自然公園施設等 |
| 公共交通関係 | 56億2,683万円 | 鉄道(JR九州は含まない)、路線バス等 |
| 農林水産関係 | 1,019億4,478万円 | 農地・農業用施設、山地崩壊、農林水産物等 |
| 商工・観光関係 | 699億6,900万円 | 建物・設備等 |
| 文化財 | 18億4,000万円 | 国指定、県指定、市町村指定及び国登録文化財 |
| 廃棄物処理 | 234億4,802万円 | し尿処理施設、災害廃棄物処理費用 |
| 計 | 5,222億3,960万円 | |

(令和3年3月30日時点)

被害状況一覧

| 被害区分 | 状況 | 備考 | |
|----------|------------|----------|--|
| ライフライン被害 | 断水 | 約28,000戸 | |
| | 停電 | 8,840戸 | |
| | LPガス設備 | 3,736戸 | 被災地域に都市ガスなし |
| | 固定電話影響回線 | 39,770回線 | NTT西日本 |
| 文化財被害 | 携帯電話停波基地局 | 269局 | NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク |
| | 国指定(登録を含む) | 34件 | 建造物、史跡等 |
| | 県指定 | 9件 | 建造物、史跡、美術工芸品等 |
| | 市町村指定 | 40件 | 建造物、史跡、美術工芸品等 |
| (計) | 83件 | | |
| 災害廃棄物等 | 災害廃棄物 | 32.8万トン | 処理量 |
| | 海岸漂着物(流木等) | 36,907㎡ | 建設海岸: 11,227㎡ 港湾海岸: 2,390㎡ 農地海岸: 16,275㎡ 漁港海岸: 7,015㎡ |
| | 宅地内堆積土砂 | 約41万㎡ | 推計値 |

(令和3年3月30日時点)

災害公営住宅等の整備状況

(令和6年1月末時点)



完成(9地区221戸)

| 市町村 | 地区 | 戸数 |
|-----|-------|------|
| 相良村 | 西原 | 2戸 |
| 八代市 | 合志野 | 4戸 |
| 八代市 | 中津道 | 1戸 |
| 八代市 | 藤本・大門 | 5戸 |
| 球磨村 | 一勝地渡 | 8戸 |
| 球磨村 | 渡 | 60戸 |
| 芦北町 | 佐敷湯浦 | 9戸 |
| 芦北町 | 湯浦 | 12戸 |
| 人吉市 | 相良町 | 120戸 |

工事中(1地区44戸)

| 市町村 | 地区 | 戸数 |
|-----|-----|-----|
| 人吉市 | 東校区 | 44戸 |

設計中(2地区17戸)

| 市町村 | 地区 | 戸数 |
|-----|-------|-----|
| 球磨村 | 神瀬 | 7戸 |
| 八代市 | 坂本町松崎 | 10戸 |

合計

| 市町村 | 地区 | 戸数 |
|------|------|------|
| 5市町村 | 12地区 | 282戸 |

凡例 ●完成 ●工事中 ●設計中